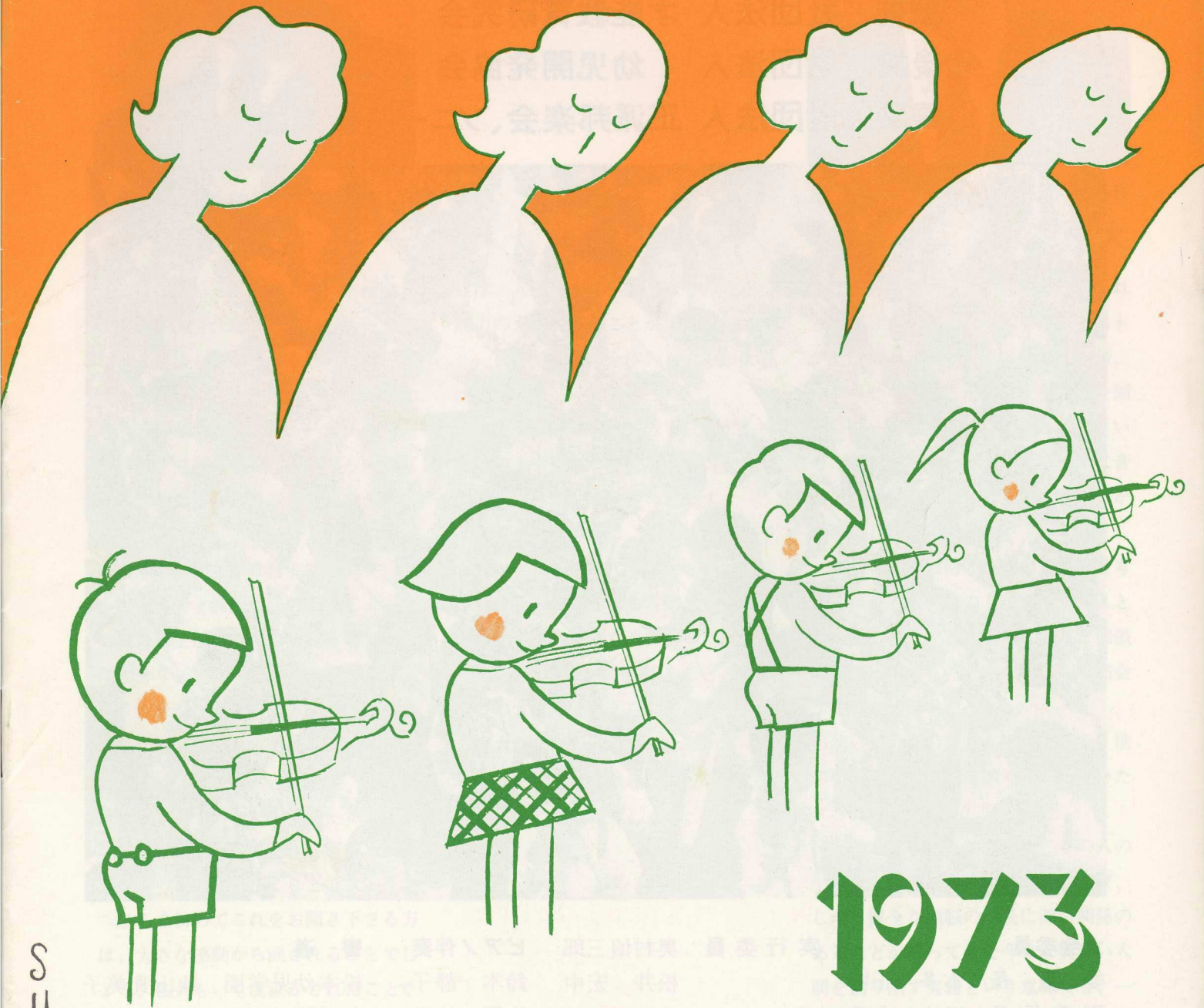


# Talent Education Concert

## 才能教育音楽祭



1973



# 2,000人の児童による大合奏

バイオリン・ピアノ・セロ・箏・フルート・習字

とき／昭和48年3月26日(月) 午後2時

ところ／日本武道館大ホール (東京・九段)

入場券／指定席¥500 自由席¥300

主催／社団法人 才能教育研究会

後援／財団法人 幼児開発協会

賛助／財団法人 正派邦楽会、ソニー吹奏楽団



大会委員	実行委員	奥村 偵三郎	ピアノ伴奏	書道
委員長 本多 正明	松井 宏中	鈴木 静子	松本 幼児学園	秋山 貴美子
副委員長 田中 金重	広瀬 八朗	片岡 治子	幼児開発協会	望月 美佐
実行委員長 宮沢 進	會 則道	賛助出演		
副委員長 山本 真嗣	大熊 庸生	正派邦楽会	総裁 中島 雅楽之都	
実行委員 高杉 忠一	東京事務所 水野 明夫	ソニー吹奏楽団	指揮 秋山 紀夫	

## 日本が世界に訴える 教育の

### デモンストレーション



才能教育研究会会長

### 鈴木 鎮一

美しい心も優れた能力も、生れつきではなく、生れた日からの育て方で、どのようにも開発されるものであるという事実を知った私共が、心を合わせ、「どの子も育つ」新しい人間開発の教育法を追求して40年、今年も又武道館に於て、第19回目の全国大会を開催いたすのです。

日本各地の才能教育支部に於て、みんなの手で才能教育法によってよく育てられた生徒達が、毎年こうして東京に集まり、リハーサルもなしで、いきなり大合奏をいたすのです、年々参加児童が増えて参り、昨年は二千数百名でした。

今年には三千名近い生徒達、3才4才からの幼ない生徒達が、喜びにあふれて力いっぱい演奏することでしょう。

恐らく初めてこれをお聞き下さる方は、大きな感動から涙されることでしょう。私共もいく度泣かされたことでしょうか。

これは音楽だけの世界ではなく、総ての能力の育成も、それぞれに正しく育てる道を拓けば、地上の総ての子供

## 人類初めての経験



幼児開発協会理事長

### 井 深 大

達は、人間として、美しい心の立派な能力の人に育てることが出来るのです。一日も早く人類全体の、大きな反省がほしい。

家庭や学校に於ける教育にしても、「心も能力も生れつきではない。」ということが明らかになった今日です。

大きな反省の中に、新しいどの子も育つ、教育の時代、ほんとうに、ベビーに与えられている人間としての高いその可能性を、立派にすべてのベビーを開発する時代をつくることこそ、今日の大人達に与えられている何よりも重大な使命ではありませんか。

終りに、本日ご来聴いただいたことありがたく感謝いたします。

三千人に近いバイオリニスト、それも大部分十才以下の豆バイオリニストが同時に演奏する音楽会、全国、否、全世界からその日集った子供達が一回のリハーサルもなく、一指乱れずといった演奏をするということは、単に音楽会で音楽を聴くということをはるかに超越した感動である。

私はいつも芸術とは何だろうかと考えるけれども、その人が感激することが最高の芸術だとしたら、こんな感激の場は一生のうちそんなに何回も出会うものではないだろう。

幼い子供達のつくり出す芸術を、世の中の人はいま一度深く味わっていたまき度い。

しかも、幼い人の芸術が、その人の一人一人の美しい性格をつくり上げ、しかも健全な頭脳の成長に深い関係のあることが解って来た今日、美しい人間を創り出す実務という意味でも、一人でも多くの人に音楽会を聴いていただくことをお願いする。



It is with joy that I have learned that the National Concert is to be held on March 26 of this New Year. I shall bend every effort to have the privilege of attending.

It was more than ten years ago when I first heard of Professor Suzuki and his work with children. The man who told me about it here in Philadelphia did not believe it and he was extremely disturbed when I believed immediately that three year old Japanese children could play the violin and the piano and play them very well. He was indignant that I should believe it when he, who first told me of it, did not.

I believed it completely, instantly, and positively although I had never seen a single three year old play the violin. I believed this because everything I had learned in my life lead me to believe that this should be possible. My own work of a lifetime with brain-injured children had taught me that tiny children can learn anything and can do so readily and most especially can children learn languages faster than any adult and surely music is a language and a beautiful one. So great is this ability on the part of tiny children that even severely brain-injured children can learn faster than adults.

In The Institutes for the Achievement of Human Potential in Philadelphia we had taught hundreds and hundreds of severely brain-injured two year old children to read; in Australia we had seen our friends, the Timmermans, teaching newborn babies to swim; among American Indians we had seen tiny children ride horses, in Japan we had seen Professor Ishii teach three year old children to read Kanji, in Tokyo at E.D.A. we had seen tiny Japanese children speaking English.

One of the greatest joys of my life was to attend a Concert at Talent Education in Matsumoto and for the first time hear the children play as I had known ten years earlier that they could do. Both Mrs. Doman and I were thrilled, excited and deeply gratified at this most marvelous Concert. Later our hearts were warmed and again we were thrilled to attend the Concert of Talent Education in Carnegie Hall in New York and to see and hear the tiny Japanese children play so superbly in concert with a hundred tiny American children.

This year The Institutes for the Achievement of Human Potential in Philadelphia will have the honor of sponsoring a Concert of the Suzuki Children at the Academy of Music in Philadelphia. Again our hearts will overflow.

Having had the privilege of spending my life work with children in more than sixty countries and living with them in jungles, in deserts, and in the Arctic, I must say that Talent Education is doing a superb service to the world under the inspired genius of Professor Suzuki.



ドーマン博士と鈴木会長

I believe the children of the world together can demonstrate to adults and indeed to the governments of the world that man can and should live in Brotherhood and Peace.

I extend my congratulations and my deep appreciation for what they are doing, to Talent Education, to Professor Suzuki, to the Suzuki Children and to the Japanese people on this happy day of the National Concert. The eyes of the world will be increasingly focused on you.

Glenn Doman  
Director,  
The Institutes for the  
Achievement of Human Potential  
January 23, 1973

人間能力開発研究所  
(フィラデルフィア・米国)

所長 **グレン・ドーマン**

今年も三月二十六日に全国大会が開催されることを伺い、心からお喜び申し上げます。

私も出来たら是非出席したいと考えています。

私が鈴木先生と才能教育の子供のことを初めて聞いたのは、今から十年も前のことでした。そのことを話してくれた人は、フィラデルフィアの方で、当人は、幼い子供が優れた能力でバイオリンやピアノが演奏出来ることなどあり得ない、と思っていました。然し私は直感的にそれが可能であることを確信しましたが、話をした当人が信じないのに、私が信じたというので、彼は不快に思ったようでした。

勿論私は三才の子供がバイオリンを弾いたのを聞いたことはありません。然し私の今迄の人生は、それが全く可能であることを私に教えてくれました。

私は現在、生涯の仕事として、脳障害児の治療を致して居りますが、重症の彼等でも、色々ものを覚えてゆくのをみて、子供の大きな可能性を信じています。特に幼いときは容易に言葉を覚えます。音楽は最も美しい言葉ですので、当然子供がそれを演奏出来る可能性を持っていることを信ずることが出来ました。子供がものを覚える能力は、とても素晴らしく、重症の脳障害児でも文字や言葉をどんどん覚えていきます。

私の一生で最も感激したことは、松本で幼い子供の演奏を聞いたときでした。それは十年間信じていたことを実際に聞くことが出来たからです。又、昨年秋、カーネギーホールで日本の子供が立派な演奏をし、又アメリカの幼い児童が一諸に弾く姿は感動的でした。今年の才能教育の演奏旅行で、私達が、フィラデルフィアの音楽学校でコンサートを主催することになったのはとても光栄です。

私は、生涯の仕事の中で、今迄、ジャングルや砂漠、又北極で多くの子供と生活を共にいたしました。然し、その経験から、私は鈴木先生という素晴らしい指導のもとで、才能教育は世界に限りない貢献をしているということをし上げたいと思います。

私達は、世界中の子供が友情と平和の中で一諸に生活出来ることを、大人や政府に知らせる必要があります。

私は今日のよき日に、才能教育、鈴木先生、そして子供達に心からおめでとうと申し上げます。世界中の瞳は貴方に集中しているでしょう。

The Schools Music Association sends greetings and good wishes to Talent Education, Japan, on the occasion of the National Concert in Nippon Budokan in Tokyo.

We have had the privilege to welcome Talent Education on three visits to Great Britain and look forward to a fourth visit this year. We owe a great debt of gratitude to Dr. Shinichi Suzuki for proving that very young children can be taught to play the violin and to develop in many other ways at an age usually devoted only to play. This early development of the memory may well change the whole outlook on the education programme of many countries. Furthermore, by bringing children of countries to make music together as a common language will do much to promote friendly feelings between the rising generations of children.

The visits to Great Britain have opened the eyes of teachers and others to what can be achieved and has led to the launching of a research and development programme to further teaching by Dr. Suzuki's method.

We have learned much by the playing of the children and the lectures given by Dr. Masaaki Honda, Mr. Kenji Mochizuki, and Dr. Alfred Garson of Canada, with the help of a number of leading teachers from Japan, which has led to the Rural Music Schools Association in England receiving a grant of £27,000 from the Gulbenkian Foundation and Leverhulme Trust for teacher research investigations into the method devised by Dr. Suzuki.

We send our warmest thanks to our friends in Japan for all that they are doing for children and music as education.

Stephen S. Moore  
Secretary  
THE SCHOOLS MUSIC ASSOCIATION  
January 9, 1973



このように記憶による教育法は明日の世界の教育を全く変えてしまうでしょう。

又、音楽を共通の言葉として才能をのばすことは、明日の世界の子供に真の理解と友情をもたらすことになるでしょう。

英国への才能教育児童の訪問は、幼児の高い可能性について多く教えて頂き、今後鈴木メソッドをより深く研究する意欲を与えられました。

英国学校音楽協会

事務局長

**ステフエン・ムーア**

英国学校音楽協会は、東京日本武道館で開催される全国大会に心からなる祝辞を申し上げます。

私達は過去において三回、才能教育児童を英国に迎え、今秋第四回の訪問が予定されております。私達は鈴木先生に、幼い子供が遊んですごしてしまう年令でも、バイオリン或はその他の分野でも立派に才能が育つ事実を証明していただき、大変感謝しています。

私達は子供の演奏から、又、本多正明、望月謙児の両氏及び指導者から多く学ぶことが出来ました。又、カナダのアルフレッド・ガーソン先生からも色々指導を受けました。その結果、私達は鈴木メソッドのより深い研究、その指導者の養成のため、ガルベンキアン・及びレベルヒューレム財団から27,000ポンド（1ポンド邦貨約800円）の寄贈を受けることが出来ました。

私達は、日本のお友達が子供の幸せのため、そして音楽のため、努力しておられることに心からなる感謝をささげたいと思います。



# PROGRAM

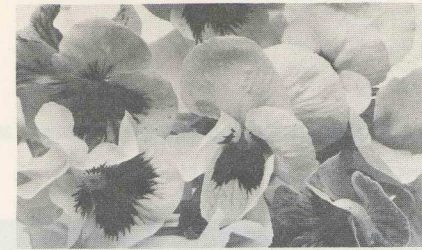
## 第21回卒業式 1:00~1:35

開会の辞.....大会委員長 本多正明  
 挨拶.....会長 鈴木鎮一  
 卒業証書授与.....会長 鈴木鎮一  
 お祝いの言葉.....名誉会長 徳川義親  
 お祝いの言葉.....理事長 井深 大  
 卒業生の演奏(バイオリン合奏)ガボット.....ゴセック

## 第19回全国大会 2:00~4:30

1. ソナタ ト短調 第1,第2楽章(バイオリン合奏).....エックレス
2. 協奏曲 イ短調 第1楽章(バイオリン合奏).....バッハ
3. アレグロ(バイオリン合奏).....フィオッコ
4. 協奏曲 ト短調 第1楽章(バイオリン合奏).....ビバルディ  
 ジーグ (ピアノ独奏).....バッハ  
 トルコ行進曲(ピアノ独奏).....モーツァルト  
 キラキラ星変奏曲(セロ合奏).....鈴木鎮一編  
 かすみかくもか(セロ合奏).....外国民謡  
 メヌエット(セロ合奏).....バッハ  
 白鳥(セロ合奏).....サン・サーンス  
 ガボット(セロ合奏).....ポッパー  
 イタリアンコンチェルト 第1楽章(ピアノ独奏).....バッハ  
 組曲第2番より メヌエット(フルート合奏).....バッハ  
 ベニスの謝肉祭 主題と変奏(フルート合奏).....ジュナン  
 イタリアンコンチェルト 第3楽章(ピアノ独奏).....バッハ  
 六段の調べ(箏合奏).....八橋検校  
 書道.....松本幼児学園・東京幼児開発協会児童
5. 二つのバイオリンのための協奏曲第1楽章(バイオリン合奏).....バッハ
6. 協奏曲 イ短調 第1楽章(バイオリン合奏).....ビバルディ  
 飛躍(箏合奏).....久本玄智
7. コブルガー マーチ(バイオリン合奏).....ドイツ行進曲
8. ブーレ(バイオリン合奏).....バッハ
9. 二人のてきだん兵(バイオリン合奏).....シューマン
10. ブーレ(バイオリン合奏).....ヘンデル
11. メヌエット 第2番(バイオリンと箏の合奏).....バッハ
12. 無窮動(バイオリン合奏).....鈴木鎮一
13. アレグロ・むすんでひらいて(バイオリン合奏).....鈴木鎮一・外国民謡
14. こぎつね・蝶々(バイオリン合奏).....外国民謡
15. キラキラ星変奏曲(バイオリンと箏の合奏).....鈴木鎮一編  
 螢の光(皆で合唱と合奏).....スコットランド民謡

5,6,は才能教育弦楽団伴奏 7,9,10,はソニー吹奏楽団伴奏



- Greeting.....Chairman M.Honda  
 Address.....President S.Suzuki  
 Graduation Ceremony  
 Words of Congratulation.....Hon.President Y.Tokugawa  
 Words of Congratulation.....Board of Director M.Ibuka  
 Performance by Graduates Gavotte(violins).....Gossec
1. Sonata g min.1st &2nd mov. (violins).....Eccles
  2. Concerto a min. 1st mov. (violins).....Bach
  3. Allegro(violins).....Fiocco
  4. Concerto g min. 1st mov. (violins).....Vivaldy  
 Gigue(piano solo).....Bach  
 Turkischer Marsch(piano solo).....Mozart  
 Twinkle, twinkle Little star-Variations(cellos).....arr. by S. Suzuki  
 May Song(cellos).....Folk Song  
 Minuet(cellos).....Bach  
 The Swan(cellos).....Saint-Saëns  
 Gavotte(cellos).....Popper  
 Italian concerto 1st mov. (piano solo).....Bach  
 Minuet(flutes).....Bach  
 Allegretto from Carnival of Venice(flutes).....Genin  
 Italian Concerto 3rd mov. (piano solo).....Bach  
 Rokudan(kotos).....Yatsunashi-Kengyo  
 Calligraphy.....Matsumoto Kindergarten-Tokyo EDA Children
  5. Concerto d min. 1st mov. for Two Violins(violins).....Bach
  6. Concerto a min. 1st mov. (violins).....Vivaldi  
 Hiyaku (kotos).....G. Hisamoto
  7. Couburger March(violins).....German March
  8. Bourrée(violins).....Bach
  9. The two grenadiers(violins).....Schumann
  10. Bourrée(violins).....Händel
  11. Minuet No. 2 (violins&kotos).....Bach
  12. Perpetuum Mobile(violins).....S. Suzuki
  13. Allegro, Go Tell Aunt Rhody(violins).....S. Suzuki・Folk Song
  14. Song of the Wind,Lighty Row(violins).....Folk song
  15. Twinkle, twinkle little Star-Variations(violins&kotos).....arr. by S. Suzuki  
 Auld Lang Syne.....Scotland Folk Song



# 前大会(1972年)のアルバムから

①新しくご臨席の皇后さま 皇太子さまご夫妻、秩父宮妃 ②3才からのバイオリン科2,254名の感動の大合奏 ③はるばるアメリカから参加した29名の生徒 ④賛助出演の箏81名の大合奏 ⑤セロ科59名の合奏  
 ⑥フルート科40名の合奏 ⑦10,000名の大観衆のなかでのピアノ科生徒の独奏 ⑧松本幼児開発協会20名の園児の習字



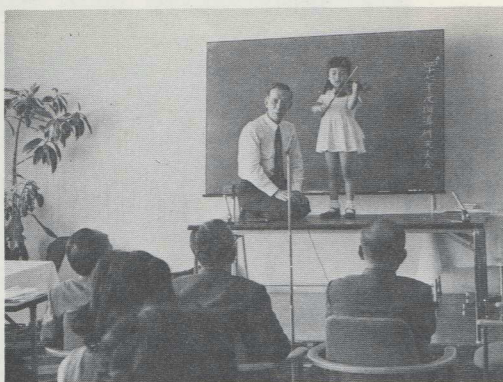


## 主要行事の報告

### 指導者研究大会 5月22日～27日

愛知県蒲郡市の近郊、三河湾を眼下一望におさめる標高700mの三河ハイツが今年の会場でした。北は札幌・釧路、西は高知・熊本から160余名の本会教育部指導者が出席、鈴木会長を中心に一週間の全日程を通して才能教育法の徹底的な研究が行われました。

宿舎の窓々からの眺めは、広々とした青い海と丘や谷の美しい新緑ばかりです。この明るい自然の環境の中で、寝食をともにして行われる毎年の研究大会は、参加者の大きな喜びであると共に、才能教育全体の質的な水準を一年毎に高めていくことに、きわめて顕著な役割を果たしています。



教室別レッスン



アメリカ・オーストラリアから参加の生徒



### 夏期学校 7月27日～8月4日

第23回夏期学校は、前班（7月27日～31日）562名、後班（7月31日～8月4日）436名、前・後班通して48名、計1042名という多数の生徒が参加し、今年も松本市の才能教育会館を中心に、隣接の市民館、近くの松南高校26教室をかりて盛大に行われました。

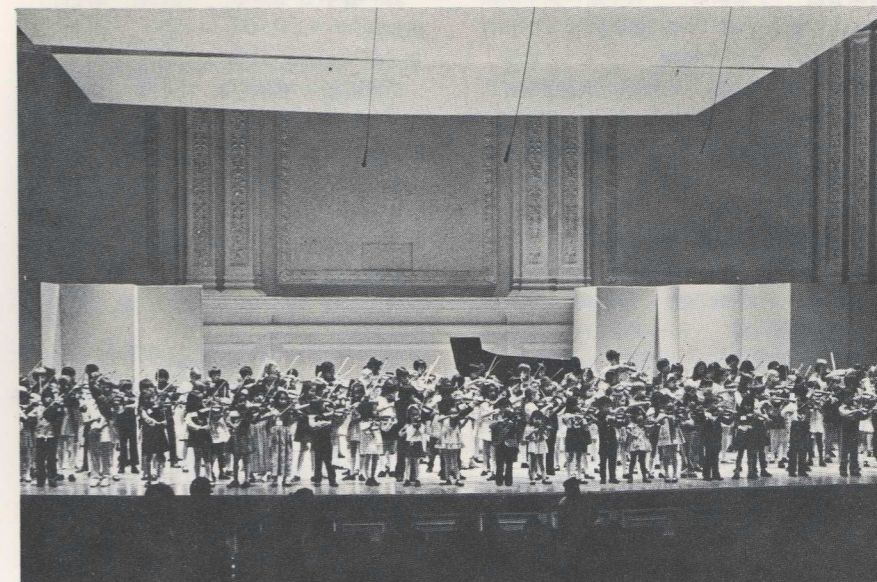
こ、数年の子供達の進歩は目ざましく、このことは7才以下の生徒によるバッハのルーレやビバルディのイ短調の協奏曲の素晴らしい合奏にはつきりとうかされました。



### 欧米への演奏旅行 (第8回)

9月29日～11月5日

今回の演奏と講演と講習の旅行は、英国ではブリストル、チェシャー、マンチェスターの3都市で、アメリカでは、ニューヨーク州のイサカ、オネイダ、ニューヨーク、バージニア州のリンチバーグ、イリノイ州のウイネチカ、ミネソタ州のヒッピング、ベミジ、ウィスコンシン州のスチブンスポイント、ミズーリー州のスプリングフィールド、アイオワ州のスーシー、ネバダ州のレノ、カリフォルニア州のサンディエゴ、ピアトランスの13都市で、カナダではロンドン、バンフ、カリガリ、ウイネグの4都市で、計3ヶ国の20都市で行なわれました。



メンバーは、引率の本多正明理事、指導者は山下健一、中島美子、野村武二、片岡治子の4先生、バイオリン8名、セロ1名、ピアノ1名の計10名の生徒が参加しました。

特筆すべきことは、井深理事長とケ

ン財団のバックナー氏のお骨折で、10月15日、ニューヨーク市のカーネギー大ホールで、日米の才能教育生徒による初めてのコンサートが実現したことです。アメリカにおける才能教育10年の歩みの輝かしい成果です。

### バイオリン教室の卒業生数一覧表

第1回卒業式（昭和28年・1953年）から  
第20回卒業式（昭和47年・1972年）までの20年間

Violin科	卒業曲目	期間	卒業生数	卒業時の年齢
前期初等科	ガボット（ゴセック） 鈴木鎮一指導曲集1巻終了	1970～1972 （3年間）	1,548名	3才～9才 （幼～小4）
初等科	ルーレ（バッハ） 鈴木鎮一指導曲集3巻終了	1966～1972 （7年間）	3,518名	7才～9才 （小2～小4）
中等科	協奏曲 ト短調 第1楽章（ビバルディ） 鈴木鎮一指導曲集5巻終了	1953～1972 （20年間）	5,955名	9才～13才 （小4～中2）
高等科	協奏曲 イ短調 全楽章（バッハ） 鈴木鎮一指導曲集7巻終了	1953～1972 （20年間）	2,614名	10才～14才 （小5～中3）
研究科	協奏曲 第4番 全楽章（モーツァルト） 鈴木鎮一指導曲集10巻終了	1953～1972 （20年間）	1,099名	13才～17才 （中2～高3）